



水稻 殺虫・殺菌剤 / 育苗箱・灌注処理剤

フーンパス®SC

いもち病

初期害虫

灌注処理剤

高密度は種対応

稲の病害抵抗性がアップ!

病害虫から 守る!

- ・長い残効性。
- ・育苗箱灌注処理剤。



いもち病



イネミスゾウムシ



イネドロオイムシ



powered by
CYAZYPR®
ACTIVE INGREDIENT

CYAZYPR® は、FMC Corporation または
その米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。
フーン®、パス®、® はクミアイ化学工業(株)の登録商標

ブーンパス®SC

有効成分 シアントラニリプロール …… 14.5%
ジクロベンチアゾクス …… 31.5%
人畜毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

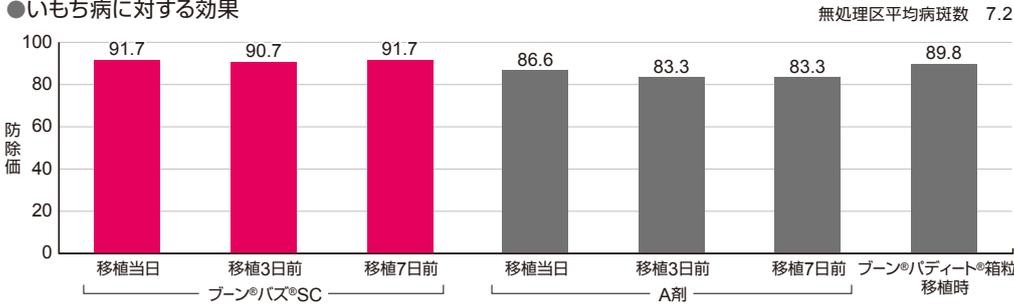
- 特長**
 - いもち病に優れた効果と長い残効性
 - イネミズゾウムシ、イネドロオウムシに優れた効果
 - 灌注処理で作業の省力化に貢献

適用病害虫と使用方法 2024年2月現在

| 作物名 | 適用病害虫名 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数 | ジクロベンチアゾクスを含む農薬の総使用回数 |
|--------|------------------------------|--|--|----------------------------|---------|------|------------------------|---|
| 稲(箱育苗) | いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ | 500倍 | 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り0.5ℓ | 移植 7日前 〜 移植 当日 | 1回 | 灌注 | 1回 | 3回以内 (移植時までの処理は 1回以内、本田での 散布は2回以内) |
| | | 高密度には種する場合は20ml/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ)1箱当り1~2ml (希釈倍数250~500倍)) | | | | | | |

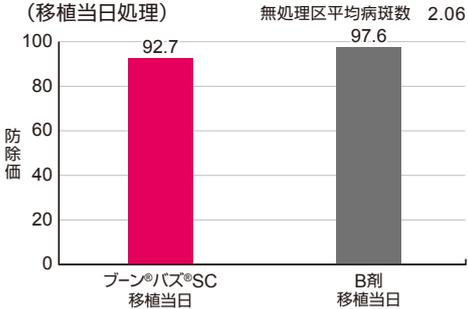
試験成績

●いもち病に対する効果



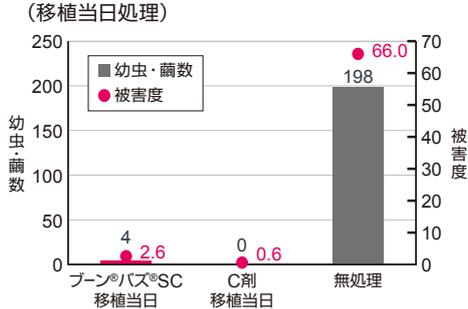
2022年 クミアイ化学工業株式会社 社内試験
品 種: コシヒカリ
区制・面積: 1/10,000a ワグネルポット/区 3連制
播 種: 7月5日
移 植: 7月22日
接 種: 8月11日
発生程度: 多発生(接種)
調 査 日: 8月18日(移植27日後)
調査方法: 各区10莖の完全展開葉を対象に上位2葉に形成された進展型病斑数を調査し、1莖あたりの病斑数から防除値を算出した。

●いもち病に対する効果 (移植当日処理)



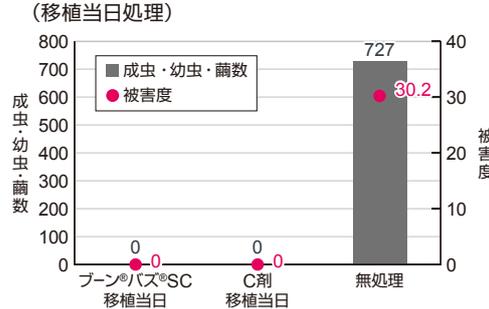
2020年 日本植物防疫協会 高知試験場
品 種: コシヒカリ
区制・面積: 57.6㎡ (4.8×12m) 2連制
播 種: 3月7日 移植: 4月10日
発生程度: 少(接種)
調 査 日: 7月1日(移植82日後)
調査方法: 各区17株の全葉について停止型と進展型病斑数を調査し、1株当たりの病斑数から防除値を算出した。

●イネミズゾウムシに対する効果 (移植当日処理)



2021年 日本植物防疫協会 山梨試験場
品 種: コシヒカリ
区制・面積: 108㎡ (7.2m×15m) 連制なし
播 種: 4月26日 移植: 5月21日
発生程度: 多発生
調 査 日: 食害調査 6月25日(移植35日後)
根部生息虫数調査 7月5日(移植45日後)
調査方法: 区内中央付近4地点から連続した50株(計200株)について、葉の食害を程度別に調査し、被害度を算出した。
根部生息虫数調査 各区4か所から任意の3株を掘り取り、幼虫、蛹数を調査した。

●イネドロオウムシに対する効果 (移植当日処理)



2021年 日本植物防疫協会 山梨試験場
品 種: コシヒカリ
区制・面積: 108㎡ (7.2m×15m) 連制なし
播 種: 4月26日 移植: 5月21日
発生程度: 中発生
調 査 日: 7月2日(移植42日後)
調査方法: 食害調査 区内中央付近4地点から連続した100株(計400株)について、葉の食害を程度別に調査し、被害度を算出した。
虫数調査 区内中央付近4地点から連続した100株(計400株)について、成虫、幼虫、蛹数を調査した。

【使用上の注意事項】

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせて薬液を調整し、使いきってください。
- 育苗箱の上から所定量の希釈薬液を均一に灌注してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が20ml/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を1から2mlまでの範囲で調整してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗または苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後に田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田及び隣接した水田ではいぐさを栽培しないでください。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行ってください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初

- めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密栓し、直射日光を避け、冷涼な場所に保管してください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。

本資料は2024年2月現在の知見に基づいて制作しております。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。